

# 渥美国際交流財団 2017 年度事業報告

対象期間 (2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

## ■ 留学生の奨学事業【公 1】(公益目的事業 1)

### ➤ 奨学金支給

【1】 渥美奨学金の支給：2017 年度渥美奨学生 13 名に月額 20 万円を支給

※2 名の奨学金支給期間が短いため 1 名追加

- ・奨学生 1 名の奨学期間は 2016 年 9 月～2017 年 8 月 (2016 年度奨学生)
- ・奨学生 1 名の奨学期間は 2017 年 6 月～2017 年 8 月
- ・奨学生 1 名の奨学期間は 2018 年 1 月～2018 年 12 月

★奨学金のうち 2 名分 (480 万円) は、藤井・井手奨学資金から拠出

<2017 年度博士号取得者>

#### 2017 年度奨学生

アキバリ、フーリエ (イラン) 千葉大学 博士 (公共研究)

千葉大学人文社会科学研究科特別研究員

バズラチャルヤ、ディヌ (ネパール) お茶の水女子大学 博士 (人間発達科学)

ネパールに帰国して就職活動

金 眺咏 (韓国) 総合研究大学院大学 博士 (日本歴史研究)

国立歴史民俗博物館ポスドク研究員

コウオジェイ、マグダレナ (ポーランド/ドイツ) デューク大学 (早稲田大学) 博士 (美術史)

デューク大学講師

朴 鍾赫 (韓国) 東京慈恵会医科大学 博士 (臨床検査医学)

日本医科大学スポーツ科学教室ポスドク研究員

宋 晗 (中国) 東京大学 博士 (日本文化研究)

フェリス女子大学文学部日本文学科助教

楊 冠穹 (中国) 東京大学 博士 (アジア文化研究)

東京大学総合文化研究科学術研究員

#### 2016 年度奨学生

張 瑋容 (台湾) お茶の水女子大学 博士 (ジェンダー学際)

お茶の水女子大学基幹研究院研究員

蔣 建偉 (中国) 早稲田大学 博士 (人文科学)

中国で就職活動中

李 志炯 (韓国) 千葉大学 博士 (デザイン科学)

第一工業大学建築デザイン学科助教

モリソン、リンジー (アメリカ) 国際基督教大学 博士 (アーツ・サイエンス)

武蔵大学人文学部英語英米文化学科助教

#### 2015 年度奨学生

ブリティカ、フリアナ (コロンビア) 国際基督教大学 博士 (アーツ・サイエンス)

神奈川大学外国語学部英語英文学科非常勤講師

グリブ、ディーナ (ロシア) 首都大学東京 博士 (人間科学)

名古屋大学国際教育交流センター特任講師  
 ヤン、ユー グロリア (中国) コロンビア大学 博士 (美術史)  
 九州大学大学院人文科学研究院助教

2014 年度奨学生

李 婷 (中国) 早稲田大学 博士 (日本語教育学)  
 日本大学文理学部助教

**【2】 博士号取得者の海外学会参加者奨学金**

朴 准儀 (シンガポール国立大学博士後課程フェロー、2011 年度奨学生)

派遣地：サンフランシスコ

訪問機関：アメリカ政治学会年次総会

日 時：2017 年 8 月 31 日～ 2017 年 9 月 3 日

洪 玗伸 (青山学院大学講師、2008 年度奨学生)

派遣地：ニューヨーク

訪問機関：ニューヨーク市立大学 East Asian Studies Colloquium

日 時：2017 年 8 月 24 日～2018 年 8 月 23 日

李 志炯 (千葉大学非常勤講師、2016 年度奨学生)

派遣地：韓国ソウル

訪問機関：韓国デザイン学会

日 時：2017 年 12 月 10 日～2017 年 12 月 17 日

**【3】 元奨学生を対象とした継続支援奨学金**

適用なし

➤ 募集選考

**【4】 2018 年度第 24 期奨学生 12 名の募集・選考 (競争率：7 倍)**

募集選考の経過

7 月 1 日	博士課程のある関東地方の 137 大学の担当課、事務局、ホームページ上で募集要項の配布開始	
9 月 1 日	応募受付開始	
9 月 27 日	応募締め切り (33 大学 24 ヶ国/地域より 99 名応募)	
9 月 27 日～10 月 5 日	第一次書類選考 (応募書類の 15 項目を数値化し、コンピューター処理) (選考委員：今西)	58 名に
10 月 5 日～11 日	第二次書類選考会 (選考委員：藤井、嶋津、李恩民、シム、角田)	30 名に
10 月 31 日～11 日 7 日	予備面接 (面接者：片岡、今西、角田)	18 名に
12 月 2 日	最終選考会 (書類審査と面接)	12 名を決定

選考委員会の構成

委員長	畑村 洋太郎	東京大学名誉教授・畑村創造工学研究所	産業機械工学
委員	井上 博允	東京大学名誉教授・元日本学術振興会監事	電子情報工学
委員	片岡 達治	元癌研究会	薬学

委員	佐野 みどり	学習院大学教授	美術史
委員	田村 次朗	慶應義塾大学教授	法学
委員	平川 均	国士舘大学教授	経済学

## 2018 年度第 24 期奨学生リスト

Name	氏名	出身国	性	大学	専門分野
Chiang, Yung Po	江 永博	台湾	男	早稲田大学	日本史学
Cho, Suil	趙 秀一	韓国	男	東京大学	言語情報科学
Corbel, Amélie	コーベル、アメリ	フランス	女	パリ政治学院 (一橋大学)	比較政治
Haritaipan, Lalita	ハリタイパン、ラ リター	タイ	女	東京工業大学	工学機械
Kim, Boram	金 ボラム	韓国	女	東京大学	電気系工学
Liang, Yihua	梁 奕華	中国	女	東京外国語大学	言語文化
Min, Dongyup	閔 東暉	韓国	男	東京大学	地域文化研究
Shorina, Dariyagul	ショリナ、ダリヤ グル	カザフスタン	女	筑波大学	国際日本研究
Wu, Xiaoxiao	武 瀟瀟	中国	女	フランス国立高等研 究実習院 (EPHE) (東京大学)	歴史学・文献学
Wuerrer, Stefan	ヴューラー、シュ テファン・ヨアキム	オーストリア	男	東京大学	超域文化科学
Xie, Fang	解 放	中国	男	東京外国語大学	言語文化

## ➤ 生活支援とフォローアップ

### 【5】月例会

#### ① 毎月の交流会

4月 6日	最初の食事会 (於: 学習院目白倶楽部)
5月 8日	個人面談 (11日まで)
6月 1日	評議員会後の親睦会 (於: 鹿島 KI ビル)
6月 30日	蓼科ワークショップ (2日まで)
7月 29日	真夏の BBQ (於: 鹿島新館・渥美財団ホール)
9月 4日	個人面談 (8日まで)
10月 4日	食事会 (於: アラジン @ 六本木)
11月 9日	見学会 (於: 「東京ミッドタウン日比谷」工事現場)
12月 4日	個別面談 (8日まで)
1月 20日	新年会 (於: 鹿島新館・渥美財団ホール)
2月 1日	個人面談 (8日まで)
3月 3日	研究報告会 (於: 鹿島新館・渥美財団ホール)
3月 13日	最後の食事会 (於: ホテル椿山荘東京木春堂)

#### ② 蓼科ワークショップ

テーマ：「今こそ 平和 を」

日 程：2017年6月30日（金）～2日（日）

会 場：蓼科高原チェルトの森 東商蓼科フォーラム

講 師：南基正（ソウル大学教授）

ファシリテーター：宮里かをり、ブリティカ=アルサテ・フリアナ、チョ・アラ

参加人数：29人、ゲスト7人

プログラム：

6月30日（金）	新宿から貸し切りバスで出発 SUWA ガラスの里で昼食、美術館見学、チェルトの森到着 夕食後ワークショップ①（アイスブレイキング）
7月1日（土）	ワークショップ②（講演と小グループディスカッション） ゴルフ場クラブハウスで懇親会
7月2日（日）	ワークショップ③（プレゼンテーション） 貸し切りバスで帰京

報告：<http://www.aisf.or.jp/jp/news.php?id=5971692863f1f>

#### 【6】フォローアップ（同窓会ラクーン会）

- 最初の食事会、蓼科ワークショップ、真夏のBBQ、新年会、研究報告会に元奨学生を招待
- 世界各地でラクーン会（同窓会）を開催
  - 5月13日 ラクーン会@フィラデルフィア
  - 5月20日 ラクーン会@台北
  - 7月22日 韓国ラクーン会@Kホテル in ソウル
  - 9月17日 ラクーン会@仙台
  - 11月20日 韓国ラクーン会@ソウル
  - 11月27日 ラクーン会@北京
  - 3月25日 ミニ・ラクーン会@台北
  - 3月27日 ラクーン会@マニラ
- 「ラクーン文庫」の管理：渥美財団ホールに設置、オンラインDB

#### ■ 留学生を通じた交流事業（SGRAの活動）【公2】（公益目的事業2）

#### 【7】第4回アジア未来会議の開催準備

日時：2018年8月24日（金）～28日（火）（到着日と出発日を含む）

テーマ：「平和、繁栄、そしてダイナミックな未来」

会場：ソウル市 The K-Hotel

共催：韓国社会科学協議会、（財）未来人力研究院

① ホームページ開設 （4月）	3か国語で作成し維持管理中
② 論文募集、発表要旨 の審査	全投稿数 777（論文 685、小論文 70、ポスター 12、招待 10） 英語 681、日本語・韓国語 96、不合格 37 優秀論文の選考：候補論文 137
③ 元渥美奨学生を対 象に自主セッション	SGRA ラクーンセッション A) ナヒヤ：「一帯一路」構想における中国の辺境地域

を公募（5月）	B) フスレ：現代モンゴル地域における社会変容 C) 包聯群：絶滅危機の言語 D) 鄭淳一：墓誌の東アジア史 E) 朱琳：「東アジア」ナショナリズム再考 F) マキト：共有型成長の奇跡—そのあらゆるメカニズムの解明
④ AFC 奨学金の広報（4月）と選考（10月）	AFC 奨学金 50 名分 応募数 284、選考結果を発表（1月）。同時にインドネシア、フィリピン、台湾、タイ、ベトナム特別補助金 26 名を決定。韓国特別奨学金を設置し 20 名を決定（2月）。
⑤ AFC(SGRA) フォーラムの企画と助成金申請（11月）	AFC 円卓会議 A：第3回国史たちの対話の可能性「17世紀東アジアの国際関係—戦乱から安定へ」東京倶楽部へ申請中 B：第2回東南アジア宗教間の対話「寛容と和解—紛争解決と平和構築に向けた宗教の役割」国際交流基金アジアセンター（不採択）
⑥ 開会式と基調講演、イベント、スタディツアーについて韓国パートナーと協議・調整	7月（今西・角田）、11月（今西）、2月（今西、角田、財団スタッフ）に訪韓し、未来人力研究院の李鎮奎先生、社会科学協議会の朴賛郁先生、韓国側実行委員の李元徳先生、南基正先生、金雄熙先生と協議。 基調講演とシンポジウム：金雄熙（仁荷大学）、李周浩（立命館大学）担当 テーマ：「AIと人間の心、そして未来」 基調講演：鄭智勳（慶熙サイバー大学）「AIの今、そして未来」 金起顯（ソウル大学）「AIと人間の心」 シンポジウムは韓国社会科学協議会の各学会から討論者を選出 イベント：金賢旭（建国大学）担当 スタディツアー：世中旅行社に委託
⑦ 後援名義申請、募金活動	後援：文部科学省、在韩国日本大使館、ソウルジャパンプラブ 助成：東京倶楽部（申請中） 協力：CISV Korea、Doalltec Inc、(株) グローバル BIM その他 賛助：POSCO 建設(株)、HAEAHN Architecture, Inc、(株) NI スティール、中外製薬(株)、三菱商事(株)、東京海上ホールディングス(株)、鹿島道路(株)、大興物産(株)、鹿島建物総合管理(株)、イースト不動産(株)、Kajima Overseas Asia(株)、鹿島建設(株) その他

※第3回アジア未来会議が日本政府観光局（JNTO）の平成29年度国際会議開催貢献賞を受賞

## 【8】海外の研究機関等との共同プロジェクト

- ① 第7回日台アジア未来フォーラムを共催  
テーマ：「台・日・韓における重要法制度の比較—憲法と民法を中心として」  
日時：2017年5月20日（土）  
会場・協力機関：国立台北大学法律学院  
賛助：（公財）交流協会、台湾日本人会、中鹿營造(股)有限公司他  
言語：日中同時通訳  
参加者：100人  
担当：蔡英欣（台湾大学）  
報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/comboination/taiwan/2017/8688/>
- ② 第11回 SGRA チャイナ・フォーラムを主催  
テーマ：「東アジアからみた中国美術史学」  
日時：2017年11月25日（土）

会場：北京師範大学  
協力機関：清華東亜文化講座、北京師範大学  
助成：国際交流基金北京日本文化センター、鹿島美術財団  
言語：日中同時通訳  
参加者：70人  
担当：林少陽（東京大学）、顔淑蘭（社会科学院文学研究所）  
報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/composition/china/2017/9873/>  
SGRA レポート第 84 号（編集中）

③ 第 17 回日韓アジア未来フォーラムを共催

テーマ：「北朝鮮開発協力：各アクターから現状と今後を聞く」  
日時：2018年3月16日（金）  
会場：ソウル市Kホテル  
協力機関：韓国（財）未来人力研究院  
言語：日韓同時通訳  
参加者：20人  
担当：金雄熙（仁荷大学）  
報告：SGRA かわらばんに掲載予定  
SGRA レポート第 85 号（編集中）

④ 東アジア日本研究者協議会第 2 回国際学術大会で 3 つのセッションを主催

日時：2017年10月27日（金）～29日（日）  
会場：中国天津賽象ホテル

※公募により 3 セッションを主催

A：テーマ：「おぞましき女性の行方—フェミニズム批評から読む日本昔話および神話」

SGRA 参加者：リンジー・モリソン（武蔵大学）、フリアナ・ブリティカ（神奈川大学）、  
レティツィア・グアリーニ（お茶の水女子大学）、張桂娥（東呉大学）

報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2018/9969/>

B：テーマ：「日本の植民地支配下の東アジアにおけるメモリアル遺産」

SGRA 参加者：ブレンサイン（滋賀県立大学）、グロリア・ヤン（コロンビア大学）、  
マグダレナ・コウオジェイ（デューク大学）、李恩民（桜美林大学）

報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2018/9985/>

C：テーマ：「戦争、架け橋、アイデンティティ～近代日本と東アジアの文化越境物語～」

SGRA 参加者：林泉忠（台湾中央研究院）、ヨハン・ノルドストロム（都留文科大学）、  
孫健軍（北京大学）

報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2018/9988/>

⑤ 持続可能な共有型成長セミナーを SGRA フィリピン（マックス・マキト代表）と共催

◇ 第 23 回持続可能な共有型成長セミナー

テーマ：「経済的に困窮しているコミュニティにおける一体型の水システム」

日時：2017年5月7日（日）

会場・協力機関：AMECOS ラボ（マニラ市）  
言語：英語  
参加者：20 人（角田事務局長が参加）  
報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/composition/network/2017/8468/>

◇ 第 24 回持続可能な共有型成長セミナー  
テーマ：「人や自然を貧くしない進歩：地価税や経済地代の役割」  
日時：2017 年 9 月 23 日（月）  
会場・協力機関：Association for Good Government（シドニー市）  
言語：英語  
参加者：10 人  
報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/composition/network/2017/9800/>

◇ 第 25 回持続可能な共有型成長セミナー  
テーマ：「コミュニティ通貨と共有型成長」  
日時：2018 年 3 月 21 日（水）  
会場・協力機関：フィリピン大学ロスバニョス校  
言語：英語  
参加者：30 人（今西常務理事が参加）

⑥ 第 10 回ウランバートル国際シンポジウムを共催  
テーマ：「ユーラシアにおける日本とモンゴル」  
日時：2017 年 8 月 26 日（土）～27 日（日）  
会場：モンゴル国立大学 1 号館円形ホール  
主催：昭和女子大学国際文化研究所、モンゴル国立大学アジア研究学科  
共催：公益財団法人渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）  
後援：在モンゴル日本大使館、昭和女子大学、モンゴルの歴史と文化研究会、  
モンゴル大学院大学  
言語：モンゴル語、日本語、英語、ロシア語  
参加者数：96  
報告書：『モンゴルと報告アジア研究』第 3 号特集号「ユーラシアにおける日本とモンゴル」  
（風響社、2018 年 1 月刊行）  
担当：ボルジギン・フスレ

## 【9】SGRA フォーラムの開催

◇ 第 57 回 SGRA フォーラム  
テーマ：「第 2 回国史たちの対話の可能性：蒙古襲来と 13 世紀のモンゴルのグローバル化」  
日時：2017 年 8 月 7 日（月）～10 日（木）  
会場：北九州国際会議場国際会議室  
言語：日中韓同時通訳  
助成：鹿島学術振興財団、北九州観光コンベンション協会  
参加者：60 名  
担当：李恩民（桜美林大学）

報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2017/9480/>  
SGRA レポート第 82 号（2018 年 5 月 10 日発行）

☆ 第 58 回 SGRA フォーラム

テーマ：「アジアを結ぶ？『一带一路』の地政学」

日時：2017 年 11 月 18 日（土）

会場：東京国際フォーラム

参加者：60 名

担当：李彦銘（東京大学）

報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2018/9962/>  
SGRA レポート第 83 号（編集中）

【10】第 6 回 SGRA スタディツアー in 福島の実施

テーマ：「『帰還』－新しい村づくりが始まる」

日 程：2017 年 9 月 15 日（金）、16 日（土）、17 日（日）

訪問地：福島県飯舘村

協 力：特定非営利活動法人「ふくしま再生の会」

参加者：10 人

プログラム：

9 月 15 日（金）	新幹線とレンタカーを利用、飯舘村内視察、ふくしま再生の会メンバーと一緒に食事を作って食べ語り合い。霊山センター泊
9 月 16 日（土）	飯舘村視察、ふくしま再生の会との協働作業（放射線量測定、だいごんの種まき）、避難住民や支援者との語り合い、霊山センター泊
9 月 17 日（日）	協働作業・見学・まとめ、新幹線で帰京

報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2017/9767/>

【11】第 10 回 SGRA カフェを主催

テーマ：「産まれる前から死んだ後まで頑張らないと？」

講師：イザベル・ファスベンダー（東京外国語大学）、

ドロテア・ムラデノヴァ（ライプツヒ大学）

日時：2017 年 7 月 29 日（土）

会場：渥美財団ホール

参加者：60 人

報告：<http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/2017/9473/>

【12】SGRA レポートの発行

SGRA レポート第 79 号「日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」  
（第 52 回 SGRA フォーラム講演録）2017 年 6 月 9 日発行

SGRA レポート第 80 号「日中韓の国際開発協力－新たなアジア型モデルの模索」  
（第 16 回日韓アジア未来フォーラム講演録）2017 年 5 月 16 日発行

SGRA レポート第 81 号「人を幸せにするロボット

－人とロボットの共生社会をめざして第 2 回－」



(第 56 回 SGRA フォーラム講演録) 2017 年 11 月 20 日発行

☆ 以下は 2018 年度に発行予定

SGRA レポート第 82 号「日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性 (2)

—蒙古襲来と 13 世紀のモンゴル帝国のグローバル化」2018 年 5 月 10 日発行

SGRA レポート第 83 号「アジアを結ぶ? 『一带一路』の地政学」

SGRA レポート第 84 号「東アジアからみた中国美術史学」

SGRA レポート第 85 号「北朝鮮開発協力: 各アクターから現状と今後を聞く」

【13】多言語化プロジェクト (SGRA レポート等を英語、中国語等に翻訳し出版)

☆ 大連外国語大学『東北亜外語研究』2017 年第 4 期 第 5 巻 総第 14 期に、第 9 回 SGRA チャイナ・フォーラムの塚本磨充「境界と国籍—“美術”作品をめぐる社会との対話—」(『アジアの未来 Vol.3』所収) 中国語版を掲載 2018 年 1 月発行

☆ SGRA かわらばんで配信したエッセイを適時英訳してホームページに掲載

【14】SGRA かわらばんの配信 (第 667 号~705 号)

SGRA フォーラム等のお知らせと世界各地からの SGRA 会員のエッセイを、毎週木曜日に電子メールで発信 (購読者数: 2441 名 2017 年 4 月から 123 人増)

【15】JAANUS (英文による日本建築・美術用語のオンライン辞書) のテクニカルサポート

<http://www.aisf.or.jp/~jaanus/>

## ■公益目的事業の基盤整備

【16】サーバーとホームページの管理運営

渥美財団: <http://www.aisf.or.jp>

関口グローバル研究会: <http://www.aisf.or.jp/sgra/>

アジア未来会議: <http://www.aisf.or.jp/AFC/>

Facebook: AISF Raccoons

【17】寄附金・助成金

① 奨学事業指定寄附

寄附総額: 3,000,000 円 (個人 2 名)

② 国際交流事業 (SGRA・アジア未来会議) 指定寄附

寄附総額: 7,046,316 円 (法人 12、個人 111 名)

③ 公益目的事業指定寄附 (12 月に企業を訪問)

寄附総額: 15,200,000 円 (法人 14、個人 4 名)

④ SGRA フォーラム等開催のための助成金の受給とプロジェクト受託

総額: 1630,000 円

- ・第 57 回 SGRA フォーラム「国史たちの対話の可能性（2）」に対して北九州観光コンベンション協会より助成金 700,000 円を受給
- ・「国史たちの対話の可能性」実行委員会より受託  
（実行委員会は鹿島学術振興財団より 500,000 円の会議開催助成金を受給）
- ・鹿島美術財団より、第 10 回 SGRA チャイナ・フォーラム「東アジアからみた中国美術史学」に対して助成金 430,000 円を受給

#### 【18】年報の発行

2016 年度年報を発行（1200 部）  
6 月の理事・評議員会で配布。関係者に送付

#### 【19】公益財団法人、在日留学生支援団体との情報交換と交流

- ① 留学生奨学団体連絡協議会（JISSA）  
※東京フィルハーモニーの招待券配布（22 回計 48 枚）
- ② 特定非営利法人 国際教育交流協議会（JAFSA）
- ③ 留学生教育学会（JAISE）
- ④ 公益財団法人 助成財団センター（JFC）－評議員
- ⑤ 公益財団法人 公益法人協会（公法協）

#### ■その他

#### 【20】理事会と評議員会

第 21 回理事会	2017 年 4 月 22 日（霞山会館会議室）
第 8 回評議員会	2017 年 6 月 1 日（鹿島建設 K I ビル中会議室）
第 22 回理事会	2017 年 6 月 1 日（書面決議）
第 23 回理事会	2017 年 12 月 9 日（渥美財団ホール）
第 24 回理事会	2018 年 3 月 10 日（霞山会館会議室）